

文部科学省「いじめの問題に関する児童生徒の実態把握並びに  
教育委員会及び学校の取組状況に係る緊急調査」**神奈川県 調査結果の詳細（公立学校分）**

- I 調査 1 「児童生徒調査」の詳細
  - 1 いじめの認知件数及び現在の状況 . . . 1
  - 2 いじめの認知件数のうち、学校として、児童生徒の生命又は身体の安全がおびやかされるような重大な事態に至るおそれがあると考えるいじめ事案の認知件数 . . . 2
  - 3 いじめの態様 . . . 3
  - 4 いじめの態様（学校として、児童生徒の生命又は身体の安全がおびやかされるような重大な事態に至るおそれがあると考えるもの） . . . 4
  
- II 調査 2 - 1 「取組状況調査」の詳細
  - 1 教育委員会の取組状況 . . . 5
  - 2 学校の取組状況 . . . 9
  
- III 調査 2 - 2 「県独自調査（いじめ問題に係る点検調査）」の詳細
  - 1 小学校 . . . 11
  - 2 中学校 . . . 12
  - 3 高等学校 . . . 13
  - 4 特別支援学校 . . . 14

I 調査1「児童生徒調査」の詳細  
1 いじめの認知件数及び現在の状況

公立学校

| 区分     | 認知件数  | 解消しているもの |       |
|--------|-------|----------|-------|
|        |       | 件数（件）    | 割合（％） |
| 小学校    | 2,757 | 1,952    | 70.8% |
| 中学校    | 1,802 | 1,324    | 73.5% |
| 高等学校   | 205   | 135      | 65.9% |
| 特別支援学校 | 33    | 31       | 93.9% |
| 計      | 4,797 | 3,442    | 71.8% |

(注1) いじめの定義

本調査において、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒の立場に立つて行うものとする。

「いじめ」とは、「該当児童生徒が、一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの。」とする。なお、起こった場所は、学校の内外を問わない。

(注2) 調査対象は公立小・中・高等学校及び特別支援学校。（中学校には中等教育学校前期課程を、高等学校には、中等教育学校後期課程を含む。）

(注3) 調査期間は、平成24年度当初から、平成24年9月5日時点までとする。

※「平成24年度学校基本調査（速報）」児童生徒数（平成24年5月1日現在）：小学校463,403人、中学校209,568人、高等学校133,141人、特別支援学校7,442人

【参考】県独自調査項目 いじめの改善率（政令市を除く）

| 区分         | 認知件数<br>A（件） | 解消件数B（件） | 一定の解消件数C<br>（件） | 改善件数B+C<br>（件） | 改善率B+C/A<br>（％） |
|------------|--------------|----------|-----------------|----------------|-----------------|
| 小学校        | 407          | 183      | 215             | 398            | 97.8%           |
| 中学校        | 577          | 314      | 250             | 564            | 97.7%           |
| 高等学校       | 187          | 117      | 62              | 179            | 95.7%           |
| 特別支援<br>学校 | 19           | 8        | 9               | 17             | 89.5%           |
| 計          | 1,190        | 622      | 536             | 1,158          | 97.3%           |

(注) 改善率は、いじめの認知件数のうち、「解消しているもの」と「一定の解消が図られたが、継続支援中」を合わせた件数が占める割合を指す。（B+C/A）

2 いじめの認知件数のうち、学校として、児童生徒の生命又は身体の安全がおびやかされるような重大な事態に至る恐れがあると考えられるいじめ事案の認知件数（公立学校）

| 区分     | 認知件数 |
|--------|------|
| 小学校    | 3    |
| 中学校    | 6    |
| 高等学校   | 1    |
| 特別支援学校 | 0    |
| 計      | 10   |

（注）調査対象は公立小・中・高等学校及び特別支援学校。（中学校には中等教育学校前期課程を、高等学校には中等教育学校後期課程を含む。）

### 3 いじめの態様（公立学校）

| 区分                                | 小学校   |       | 中学校   |       | 高等学校  |       | 特別支援学校 |       | 計     |       |
|-----------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|
|                                   | 件数（件） | 割合（％） | 件数（件） | 割合（％） | 件数（件） | 割合（％） | 件数（件）  | 割合（％） | 件数（件） | 割合（％） |
| 冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。      | 1,865 | 67.6% | 1156  | 64.2% | 106   | 51.7% | 18     | 54.5% | 3,145 | 65.6% |
| 仲間はずれ、集団による無視をされる。                | 407   | 14.8% | 262   | 14.5% | 43    | 21.0% | 3      | 9.1%  | 715   | 14.9% |
| 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。   | 593   | 21.5% | 331   | 18.4% | 31    | 15.1% | 4      | 12.1% | 959   | 20.0% |
| ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。         | 88    | 3.2%  | 82    | 4.6%  | 9     | 4.4%  | 3      | 9.1%  | 182   | 3.8%  |
| 金品をたかられる。                         | 44    | 1.6%  | 44    | 2.4%  | 6     | 2.9%  | 5      | 15.2% | 99    | 2.1%  |
| 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。    | 162   | 5.9%  | 123   | 6.8%  | 16    | 7.8%  | 1      | 3.0%  | 302   | 6.3%  |
| 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。 | 142   | 5.2%  | 125   | 6.9%  | 12    | 5.9%  | 4      | 12.1% | 283   | 5.9%  |
| パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる。        | 61    | 2.2%  | 112   | 6.2%  | 56    | 27.3% | 3      | 9.1%  | 232   | 4.8%  |
| その他                               | 104   | 3.8%  | 73    | 4.1%  | 12    | 5.9%  | 1      | 3.0%  | 190   | 4.0%  |

（注1）複数回答可とする。

（注2）構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

4 いじめの態様（学校として、児童生徒の生命又は身体の安全がおびやかされるような重大な事態に至るおそれがあると考えるもの）（公立学校）

| 区分                                | 小学校   |       | 中学校   |       | 高等学校  |       | 特別支援学校 |       | 計     |       |
|-----------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|
|                                   | 件数（件） | 割合（％） | 件数（件） | 割合（％） | 件数（件） | 割合（％） | 件数（件）  | 割合（％） | 件数（件） | 割合（％） |
| 冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。      | 2     | 66.7% | 3     | 50%   | 1     | 100%  | 0      | 0%    | 6     | 60%   |
| 仲間はずれ、集団による無視をされる。                | 0     | 0%    | 0     | 0%    | 0     | 0%    | 0      | 0%    | 0     | 0%    |
| 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。   | 2     | 66.7% | 1     | 16.7% | 0     | 0%    | 0      | 0%    | 3     | 30%   |
| ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。         | 2     | 66.7% | 3     | 50%   | 0     | 0%    | 0      | 0%    | 5     | 50%   |
| 金品をたかられる。                         | 0     | 0%    | 1     | 16.7% | 0     | 0%    | 0      | 0%    | 1     | 10%   |
| 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。    | 0     | 0%    | 0     | 0%    | 0     | 0%    | 0      | 0%    | 0     | 0%    |
| 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。 | 1     | 33.3% | 1     | 16.7% | 0     | 0%    | 0      | 0%    | 2     | 20%   |
| パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる。        | 0     | 0%    | 2     | 33.3% | 1     | 100%  | 0      | 0%    | 3     | 30%   |
| その他                               | 0     | 0%    | 0     | 0%    | 0     | 0%    | 0      | 0%    | 0     | 0%    |

（注1）複数回答可とする。

（注2）構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

## II 調査2-1「取組状況調査」の詳細

### 1 教育委員会の取組状況

| 問    |  | 選択肢 |   | 神奈川県  |        | 政令指定都市 |     |      |
|------|--|-----|---|-------|--------|--------|-----|------|
|      |  |     |   | 教育委員会 | 33市町村  | 横浜市    | 川崎市 | 相模原市 |
| 問1   | いじめの問題への取組について、貴教育委員会が設置している学校に対し、点検項目に基づく定期的な点検を求めていますか。（年に1回以上）  | 1   | 各学校に点検項目を示し、それに基づく点検を求め、かつ報告を求めている。       | ○     | 100.0% | ○      | ○   | ○    |
|      |  | 2   | 各学校に点検項目を示し、それに基づく点検を求めているが、報告は求めている。     |       | 0.0%   |        |     |      |
|      |  | 3   | 各学校に点検項目の作成と点検を求め、かつ報告を求めている。             |       | 0.0%   |        |     |      |
|      |  | 4   | 各学校に点検項目の作成と点検を求めているが、報告は求めている。           |       | 0.0%   |        |     |      |
|      |  | 5   | 点検項目に基づく点検は求めている。                         |       | 0.0%   |        |     |      |
| 問1-② | 学校に示している点検項目は、どこが作成したのですか。   | 1   | 貴教育委員会が作成したもの                             | ○     | 3.0%   |        |     |      |
|      |  | 2   | 都道府県教育委員会が作成したもの（政令指定都市を含む市区町村教育委員会のみ選択可） |       | 97.0%  | ○      | ○   | ○    |
|      |  | 3   | その他                                       |       | 0.0%   |        |     |      |
| 問2   | 「『平成21年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査』結果について（平成22年9月14日付け児童生徒課長通知）」を踏まえるなどにより、貴教育委員会が設置している学校に対し、いじめの実態把握に関するアンケート調査を定期的の実施することを求めていますか。（年に1回以上） | 1   | 実施を求めている                                  | ○     | 100.0% | ○      | ○   | ○    |
|      |  | 2   | 実施は求めている                                  |       | 0.0%   |        |     |      |
| 問3   | 管下の学校等に対し、いじめの問題に関する指導の方針を明らかにしていますか。  | 1   | はい  | ○     | 100.0% | ○      | ○   | ○    |
|      |  | 2   | いいえ                                       |       | 0.0%   |        |     |      |
| 問4   | 管下の学校等に対し、いじめを把握した場合に報告することを求めていますか。   | 1   | 把握したらその都度、報告を求めている                        | ○     | 48.5%  | ○      |     | ○    |
|      |  | 2   | 週に1回から月に2～3回程度の報告を求めている                   |       | 3.0%   |        |     |      |
|      |  | 3   | 月に1回程度の報告を求めている                           |       | 18.2%  |        | ○   |      |
|      |  | 4   | 2～3ヶ月に1回程度の報告を求めている                       |       | 30.3%  |        |     |      |
|      |  | 5   | 年に1回程度の報告を求めている                           |       | 0.0%   |        |     |      |
|      |  | 6   | 報告を求めている                                  |       | 0.0%   |        |     |      |
| 問5   | 管下の学校におけるいじめの問題の状況について、学校訪問や調査の実施などを通じて実態の的確な把握に努めていますか。   | 1   | はい  | ○     | 100.0% | ○      | ○   | ○    |
|      |  | 2   | いいえ                                       |       | 0.0%   |        |     |      |
| 問6   | 学校や保護者等からいじめの報告があったときは、その実情の把握を迅速に行うとともに、事実を隠蔽することなく、学校への支援や保護者等への対応を適切に行っていますか。   | 1   | はい  | ○     | 100.0% | ○      | ○   | ○    |
|      |  | 2   | いいえ                                       |       | 0.0%   |        |     |      |
| 問7   | 各学校のニーズに応じ、研修講師やスクールカウンセラー等の派遣など、適切な支援を行っていますか。  | 1   | はい  | ○     | 100.0% | ○      | ○   | ○    |
|      |  | 2   | いいえ                                       |       | 0.0%   |        |     |      |
| 問8   | 管下の学校の中で、平成23年度当初から現在に至るまでに、いじめの問題について指導上困難な課題を抱える学校がありましたか。   | 1   | あった                                       | ○     | 39.4%  | ○      | ○   | ○    |
|      |  | 2   | なかった                                      |       | 60.6%  |        |     |      |
| 問8-② | いじめの問題について指導上困難な課題を抱える学校に対して、指導主事や教育センターの専門家の派遣などによる重点的な指導、助言、援助を行いましたか。   | 1   | はい  | ○     | 100.0% | ○      | ○   | ○    |
|      |  | 2   | いいえ                                       |       | 0.0%   |        |     |      |

| 問     |  | 選択肢           |                                     | 神奈川県  |        | 政令指定都市 |     |      |
|-------|--|---------------|-------------------------------------|-------|--------|--------|-----|------|
|       |  |               |                                     | 教育委員会 | 33市町村  | 横浜市    | 川崎市 | 相模原市 |
| 問9    | 深刻ないじめを行う児童生徒に対しては、出席停止を命ずることもできるよう、貴教育委員会において、その手続きに関する規則を定めていますか。（政令指定都市を含む市区町村教育委員会のみ回答）          | 1             | はい                                  |       | 100.0% | ○      | ○   | ○    |
|       |  | 2             | いいえ                                 |       | 0.0%   |        |     |      |
| 問10   | 貴教育委員会の定める規則において、いじめを原因とする就学校の指定の変更や区域外就学を認めていますか。（政令指定都市を含む市区町村教育委員会のみ回答）                           | 1             | はい                                  |       | 100.0% | ○      | ○   | ○    |
|       |  | 2             | いいえ                                 |       | 0.0%   |        |     |      |
| 問11   | いじめの問題に関する通知などの資料がどう活用されたか、その趣旨がどう周知・徹底されたのかなど、学校の取組状況を点検し、必要な指導、助言を行っていますか。                         | 1             | はい                                  | ○     | 100.0% | ○      | ○   | ○    |
|       |  | 2             | いいえ                                 |       | 0.0%   |        |     |      |
| 問12   | 貴教育委員会において、平成24年度中にいじめの問題に関する、教員を対象とした研修を実施した、又は実施する予定がありますか。（複数回答可）                                 | 1             | 管理職を対象とした研修を実施（又は予定）                | ○     | 39.4%  | ○      | ○   | ○    |
|       |  | 2             | 生徒指導主事等生徒指導担当教員を対象とした研修を実施（又は予定）    | ○     | 84.8%  | ○      | ○   | ○    |
|       |  | 3             | 初任者研修において実施（又は予定）                   | ○     | 36.4%  | ○      | ○   | ○    |
|       |  | 4             | 5年経験者研修、10年経験者研修等の年次研修において実施（又は予定）  | ○     | 12.1%  | ○      | ○   |      |
|       |  | 5             | 1～4以外の教員を対象とした研修を実施（又は予定）           | ○     | 42.4%  | ○      |     | ○    |
|       |  | 6             | 特に実施の予定はない                          |       | 0.0%   |        |     |      |
| 問12-② | 貴教育委員会において、どのようにいじめに関する研修を行っていますか。（複数回答可）  | 1             | 講義・講話形式                             | ○     | 75.8%  | ○      | ○   | ○    |
|       |  | 2             | グループ協議                              | ○     | 54.5%  | ○      | ○   |      |
|       |  | 3             | 具体的な事例について、ケーススタディをしている             | ○     | 45.5%  | ○      | ○   | ○    |
|       |  | 4             | その他                                 |       | 3.0%   |        |     |      |
| 問13   | いじめの問題に関する指導の充実のための教師用手引き書等を作成していますか。  | 1             | はい                                  | ○     | 84.8%  | ○      | ○   | ○    |
|       |  | 2             | いいえ                                 |       | 15.2%  |        |     |      |
| 問14   | 貴教育委員会において、学校からの相談はもとより、保護者からの相談も直接受けとめることのできるような教育相談体制が整備されていますか。                                   | 1             | はい                                  | ○     | 100.0% | ○      | ○   | ○    |
|       |  | 2             | いいえ                                 |       | 0.0%   |        |     |      |
| 問15   | 学校以外の教育相談窓口について、児童生徒や保護者、教師に対し、周知していますか。（複数回答可）  | 1             | チラシやカード等を作成し、学校を通じて、児童生徒や保護者に配布している | ○     | 100.0% | ○      | ○   | ○    |
|       |  | 2             | インターネット上で周知している                     | ○     | 100.0% | ○      | ○   | ○    |
|       |  | 3             | その他の手段で周知をしている                      | ○     | 84.8%  | ○      |     |      |
|       |  | 4             | 特に周知の手段を講じていない                      |       | 0.0%   |        |     |      |
| 問16   | 「24時間いじめ相談ダイヤル」の児童生徒への周知については、紹介カード等（リーフレットを含む）を作成し、学校を通じて、児童生徒に配布してもらうようお願いしていますが、だれを対象として配布していますか。 | ア 配布頻度        |                                     |       |        |        |     |      |
|       |  | 1             | 年1回以上                               | ○     | 100.0% | ○      | ○   | ○    |
|       |  | 2             | 配布していない                             |       | 0.0%   |        |     |      |
|       |  | イ 配布対象（複数回答可） |                                     |       |        |        |     |      |
|       |  | ①             | 小学校1年生                              | ○     | 100.0% | ○      | ○   | ○    |
|       |  | ②             | 小学校2年生                              | ○     | 100.0% | ○      | ○   | ○    |
|       |  | ③             | 小学校3年生                              | ○     | 100.0% | ○      | ○   | ○    |
|       |  | ④             | 小学校4年生                              | ○     | 100.0% | ○      | ○   | ○    |
|       |  | ⑤             | 小学校5年生                              | ○     | 100.0% | ○      | ○   | ○    |
|       |  | ⑥             | 小学校6年生                              | ○     | 100.0% | ○      | ○   | ○    |
|       |  | ⑦             | 中学校1年生                              | ○     | 100.0% | ○      | ○   | ○    |
|       |  | ⑧             | 中学校2年生                              | ○     | 100.0% | ○      | ○   | ○    |
|       |  | ⑨             | 中学校3年生                              | ○     | 100.0% | ○      | ○   | ○    |
|       |  | ⑩             | 高校1年生                               | ○     | 9.1%   | ○      | ○   |      |
|       |  | ⑪             | 高校2年生                               | ○     | 9.1%   | ○      | ○   |      |
|       |  | ⑫             | 高校3年生                               | ○     | 9.1%   | ○      | ○   |      |
| ⑬     | 特別支援学校小学部  | ○             | 12.1%                               | ○     |        |        |     |      |
| ⑭     | 特別支援学校中学部  | ○             | 12.1%                               | ○     | ○      |        |     |      |
| ⑮     | 特別支援学校高等部  | ○             | 12.1%                               | ○     | ○      |        |     |      |
| ⑯     | その他（具体的にご記入ください。）  |               | 0.0%                                |       |        |        |     |      |

| 問     |   | 選択肢 |   | 神奈川県  |        | 政令指定都市 |     |      |
|-------|---|-----|---|-------|--------|--------|-----|------|
|       |   |     |   | 教育委員会 | 33市町村  | 横浜市    | 川崎市 | 相模原市 |
| 問17   | 教育相談の内容に応じ、学校とも連絡・協力して指導に当たるなど、継続的な事後指導を行っていますか。  | 1   | はい  | ○     | 100.0% | ○      | ○   | ○    |
|       |   | 2   | いいえ   |       | 0.0%   |        |     |      |
| 問18   | 貴教育委員会（教育センター等を含む）におけるいじめに関する教育相談の実施に当たって、医療機関などの専門機関との連携が図られていますか。   | 1   | はい  | ○     | 97.0%  | ○      |     | ○    |
|       |   | 2   | いいえ   |       | 3.0%   |        | ○   |      |
| 問19   | 貴教育委員会において、いじめの問題に関し、地方法務局の人権擁護担当部局との連携を図っていますか。  | 1   | はい  | ○     | 36.4%  | ○      |     | ○    |
|       |   | 2   | いいえ   |       | 63.6%  |        | ○   |      |
| 問20   | 貴教育委員会と学校やPTA、地域の関係団体等がいじめの問題について協議をする機会が設けられていますか。   | 1   | はい  | ○     | 93.9%  | ○      | ○   | ○    |
|       |   | 2   | いいえ   |       | 6.1%   |        |     |      |
| 問21   | 貴教育委員会において、いじめの問題への取組の重要性の認識を広め、家庭や地域の取組を推進するための啓発・広報活動を積極的に行っていますか。  | 1   | はい  | ○     | 93.9%  | ○      |     |      |
|       |   | 2   | いいえ   |       | 6.1%   |        | ○   | ○    |
| 問21-② | 具体的にどのような取組をしていますか。   | 1   | チラシやカード等を作成し、学校を通じて、児童生徒や保護者に配布している               | ○     | 58.1%  |        |     |      |
|       |   | 2   | インターネット上で啓発を行っている                                 | ○     | 9.7%   |        |     |      |
|       |   | 3   | 講演会等を開催している                                       | ○     | 12.9%  |        |     |      |
|       |   | 4   | その他の取組をしている（具体的に記入ください。）                          |       | 3.2%   |        |     |      |
| 問22   | 貴教育委員会において、いじめの問題の解決のために、関係部局・機関と連携協力を図っていますか。  | 1   | はい  | ○     | 100.0% | ○      | ○   | ○    |
|       |   | 2   | いいえ   |       | 0.0%   |        |     |      |
| 問23   | 貴教育委員会におけるいじめの問題への取組について、点検項目を設け、定期的に点検していますか。（年に1回以上）  | 1   | はい  | ○     | 100.0% | ○      | ○   | ○    |
|       |   | 2   | いいえ   |       | 0.0%   |        |     |      |
| 問23-② | その点検項目はどこが作成したものでですか。   | 1   | 貴教育委員会が作成したもの                                     | ○     | 0.0%   |        |     |      |
|       |   | 2   | 都道府県教育委員会が作成したもの（政令指定都市を含む市区町村教育委員会のみ選択可）         |       | 100.0% | ○      | ○   | ○    |
|       |   | 3   | その他   |       | 0.0%   |        |     |      |
| 問23-③ | どの程度の頻度で点検していますか。   | 1   | 年1回   |       | 9.1%   | ○      | ○   | ○    |
|       |   | 2   | 年2～3回   | ○     | 84.8%  |        |     |      |
|       |   | 3   | 年4回   |       | 6.1%   |        |     |      |
| 問24   | いじめや暴力行為等に関して、貴教育委員会と警察との円滑な連携や情報共有のための仕組みがありますか。（複数回答可）<br>また、2.の選択肢にある協定等を交わしている場合、当該協定等をあわせてご提供ください（様式不問）。 | 1   | 学校から警察への連絡対象事案を示す等、警察との連携事案を策定している。               | ○     | 36.4%  | ○      |     | ○    |
|       |   | 2   | 情報の相互交換をするために、協定等を交わしている。                         | ○     | 48.5%  | ○      |     | ○    |
|       |   | 3   | 警察との連携を円滑に行うために学校の担当窓口を明らかにし、警察側の担当窓口についても承知している。 | ○     | 100.0% | ○      | ○   | ○    |
|       |   | 4   | その他（具体的に記入ください。）                                  |       | 0.0%   |        |     |      |
| 問25   | 学校警察連絡協議会を開催していますか。   | 1   | はい  | ○     | 100.0% | ○      | ○   | ○    |
|       |   | 2   | いいえ   |       | 0.0%   |        |     |      |



| 問     |   | 選択肢                               | 神奈川県  |        | 政令指定都市 |     |      |
|-------|---|-----------------------------------|-------|--------|--------|-----|------|
|       |   |                                   | 教育委員会 | 33市町村  | 横浜市    | 川崎市 | 相模原市 |
| 問25-② | 具体的にどのように開催していますか。  | ア 構成員（複数回答可）                      |       |        |        |     |      |
|       |   | 1 都道府県警察本部長と都道府県教育長等、地域の代表者レベルの会議 | ○     | 93.9%  | ○      |     |      |
|       |   | 2 警察署長と校長等の各機関の代表者レベルを主とする会議      | ○     | 97.0%  | ○      | ○   |      |
|       |   | 3 教頭や生徒指導担当教員と生活安全課や少年課等実務者レベルの会議 | ○     | 100.0% | ○      | ○   | ○    |
|       |   | イ 開催頻度                            |       |        |        |     |      |
|       |   | 1 年に1回                            |       | 0.0%   |        |     |      |
|       |   | 2 年に2～5回程度                        |       | 72.7%  | ○      | ○   | ○    |
|       |   | 3 年に6～11回程度                       | ○     | 24.2%  |        |     |      |
|       |   | 4 1ヶ月に1回以上                        |       | 3.0%   |        |     |      |
| 問26   | 学校と警察の連携について、どのような仕組みが実質的に効果があるとお考えか。警察と連携した取組への課題は何か、ご自由にお考えをお聞かせください。       | —                                 | —     | —      | —      | —   | —    |
| 問27   | 生命又は身体の安全が脅かされるような重大事案につながるおそれのあるいじめについて、直ちに報告することを求めていますか。                   | 1 求めている                           | ○     | 100.0% | ○      | ○   | ○    |
|       |   | 2 求めていない                          |       | 0.0%   |        |     |      |
| 問28   | 生命又は身体の安全が脅かされるような重大事案につながるおそれのあるいじめについて、平成23年度当初から現在に至るまで、実際に報告を受けたことがありますか。 | 1 はい                              | —     | —      | —      | —   | —    |
|       |   | 2 いいえ                             | —     | —      | —      | —   | —    |
| 問28-② | その件数はどの程度ですか。概数をご記入ください。  | —                                 | —     | —      | —      | —   | —    |
| 問28-③ | その際、教育委員会として、どのような対応を取りましたか。具体的に記述してください。                                     | —                                 | —     | —      | —      | —   | —    |
| 問28-④ | その際の教育委員会における対応について、何か課題があるとお考えですか。また、それに関連して、国に支援を求めることはありますか。具体的にご記入ください。   | —                                 | —     | —      | —      | —   | —    |
| 問29   | 今回の滋賀県における事案を機に、これまでの取組を見直したり、新たな取組を開始するなどしていますか。している場合、その見直し内容や取組内容を記載ください。  | —                                 | —     | —      | —      | —   | —    |
| 問30   | 突発的な事件・事故などの緊急時対応や、深刻ないじめ・暴力行為などに対応のために、国に支援を求めることはありますか。ご自由にご記入ください。         | —                                 | —     | —      | —      | —   | —    |

## 2 学校の取組調査

|      |   |            | 小学校  | 中学校    | 高等学校   | 特別支援学校 |        |
|------|---|------------|--|--------|--------|--------|--------|
| 問1   | 貴校において、いじめの問題への取組について、点検項目を設け、定期的に点検していますか。(年に1回以上)         | 1          | はい   | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
|      |   | 2          | いいえ  | 0.0%   | 0.0%   | 0.0%   | 0.0%   |
| 問1-② | 点検項目はどこが作成したのですか。   | 1          | 学校が独自に作成したものの  | 48.6%  | 70.8%  | 52.2%  | 29.5%  |
|      |   | 2          | その他  | 51.4%  | 29.2%  | 47.8%  | 70.5%  |
| 問1-③ | どの程度の頻度で点検していますか。   | 1          | 年1回  | 32.1%  | 19.2%  | 64.0%  | 77.3%  |
|      |   | 2          | 年2～3回  | 55.2%  | 65.2%  | 32.3%  | 18.2%  |
|      |   | 3          | 年4回以上  | 12.7%  | 15.6%  | 3.8%   | 4.5%   |
| 問1-④ | 誰が点検していますか。   | 1          | 全教職員   | 88.4%  | 88.5%  | 58.6%  | 45.5%  |
|      |   | 2          | 管理職や生徒指導主事等の一部の教職員のみ   | 11.6%  | 11.5%  | 41.4%  | 54.5%  |
| 問1-⑤ | 点検結果やそれによって分かった課題について、全教職員で共有していますか。                        | 1          | はい   | 94.8%  | 97.4%  | 98.9%  | 95.5%  |
|      |   | 2          | いいえ  | 5.2%   | 2.6%   | 1.1%   | 4.5%   |
| 問2   | 平成23年度中に、全児童生徒を対象とした、いじめの実態把握に関するアンケート調査を行いましたか。            | 1          | 実施した   | 99.5%  | 100.0% | 97.8%  | 36.4%  |
|      |   | 2          | 実施していない  | 0.5%   | 0.0%   | 2.2%   | 63.6%  |
| 問2-② | 平成23年度は、どの程度の頻度で、いじめの実態把握に関するアンケート調査を実施しましたか。               | 1          | 年1回  | 49.8%  | 17.3%  | 70.9%  | 62.5%  |
|      |   | 2          | 年2～3回  | 44.4%  | 71.7%  | 28.0%  | 31.3%  |
|      |   | 3          | 年4回以上  | 5.8%   | 11.0%  | 1.1%   | 6.3%   |
| 問2-③ | いじめの実態把握に関するアンケート調査はどのような方法で実施しましたか。(複数回答可)                 | 1          | いじめに特化したアンケートを実施   | 20.7%  | 23.0%  | 35.7%  | 0.0%   |
|      |   | 2          | 生活アンケート等の中で、いじめを把握   | 86.2%  | 89.7%  | 67.0%  | 100.0% |
| 問2-④ | 上記のアンケート調査は記名式ですか、無記名式ですか。(複数回答可)                           | 1          | 記名式  | 77.1%  | 87.8%  | 26.4%  | 37.5%  |
|      |   | 2          | 無記名式   | 22.0%  | 15.8%  | 67.0%  | 50.0%  |
|      |   | 3          | 選択式  | 5.8%   | 5.3%   | 11.5%  | 18.8%  |
| 問3   | いじめを把握したとき、いじめを発見した者だけで抱え込むことなく、速やかに共有し、組織的な対応を図るようにしていますか。 | 1          | はい   | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
|      |   | 2          | いいえ  | 0.0%   | 0.0%   | 0.0%   | 0.0%   |
| 問3-② | いじめを把握したとき、速やかに保護者に連絡していますか。                                | ア いじめる児童生徒 |  |        |        |        |        |
|      |   | 1          | 主に家庭訪問・面会により保護者に連絡している。  | 68.3%  | 82.5%  | 59.7%  | 86.4%  |
|      |   | 2          | 主に電話等により保護者に連絡している。  | 31.7%  | 17.5%  | 40.3%  | 13.6%  |
|      |   | 3          | 把握後すみやかには連絡していない   | 0.0%   | 0.0%   | 0.0%   | 0.0%   |
|      |   | イ          |  |        |        |        |        |
|      |   | 1          | 主に家庭訪問・面会により保護者に連絡している。  | 75.8%  | 88.5%  | 62.9%  | 88.6%  |
| 2    | 主に電話等により保護者に連絡している。   | 24.2%      | 11.5%  | 37.1%  | 11.4%  |        |        |
| 3    | 把握後すみやかには連絡していない  | 0.0%       | 0.0%   | 0.0%   | 0.0%   |        |        |
| 問3-③ | いじめを把握したとき、速やかに教育委員会に連絡していますか。                              | 1          | はい   | 77.9%  | 76.0%  | 79.6%  | 79.5%  |
|      |   | 2          | いいえ  | 22.1%  | 24.0%  | 20.4%  | 20.5%  |
| 問4   | 平成23年度中に、いじめの問題に関する校内研修を実施しましたか。(複数回答可)                     | 1          | いじめの問題に特化して実施した  | 14.3%  | 9.6%   | 4.3%   | 2.3%   |
|      |   | 2          | 生徒指導等の研修として、いじめの問題にも触れて実施した  | 78.0%  | 85.1%  | 67.7%  | 45.5%  |
|      |   | 3          | 実施していない  | 12.9%  | 9.8%   | 29.6%  | 54.5%  |
| 問5   | 貴校における生徒指導上の具体的な事案に関して、校長に対する報告や連絡はどのような形で行われていますか。         | 1          | 生活態度や友人関係の気になる変化など、具体的な事案につながるおそれのある兆候の全てを、定期的に校長にまで報告するよう努めている。         | 52.7%  | 61.2%  | 32.8%  | 54.5%  |
|      |   | 2          | 生活態度や友人関係の気になる変化など、具体的な事案につながるおそれのある兆候のうち特に報告すべきと考えるものを校長にまで報告するようにしている。 | 44.3%  | 37.4%  | 61.8%  | 31.8%  |
|      |   | 3          | 具体的な事案が生じてから報告が行われている。   | 2.1%   | 0.7%   | 4.8%   | 9.1%   |
|      |   | 4          | その他(具体的にご記入ください。)  | 0.9%   | 0.7%   | 0.5%   | 4.5%   |

|       |   |                 | 小学校   | 中学校   | 高等<br>学校 | 特別支<br>援学校 |        |
|-------|---|-----------------|---|-------|----------|------------|--------|
| 問6    | 児童生徒の日頃の行動や態度などについて、学級内・学年内にとどまらず、職員会議等の場で情報の共有化が図られていますか。                                | 1               | 毎日  | 5.6%  | 35.0%    | 19.9%      | 38.6%  |
|       |   | 2               | 週に1～3回程度  | 20.6% | 34.1%    | 10.8%      | 15.9%  |
|       |   | 3               | 月に2～3回程度  | 31.4% | 15.6%    | 16.1%      | 18.2%  |
|       |   | 4               | 月に1回程度  | 40.0% | 13.4%    | 25.3%      | 13.6%  |
|       |   | 5               | 上記以外  | 2.4%  | 1.9%     | 28.0%      | 13.6%  |
| 問7    | 指導上配慮を要する児童生徒の進級、進学又は転学等に際して、学級担任等の教員間での引き継ぎは適切になされていますか。                                 | 1               | 指導記録等の資料を用いて引継ぎを行っている。                            | 83.8% | 75.8%    | 69.9%      | 97.7%  |
|       |   | 2               | 指導記録等の資料は用いずに口頭により引継ぎを行っている。                      | 16.2% | 24.2%    | 30.1%      | 2.3%   |
|       |   | 3               | 教員間の引継ぎは行っていない。                                   | 0.0%  | 0.0%     | 0.0%       | 0.0%   |
| 問8    | いじめや暴力行為等に関するきまりや対応の基準を明確にしたものを保護者や地域住民等に公表し、理解と協力を得るよう努めている。                             | 1               | はい  | 50.5% | 65.2%    | 87.1%      | 75.0%  |
|       |   | 2               | いいえ   | 49.5% | 34.8%    | 12.9%      | 25.0%  |
| 問9    | 犯罪行為の可能性がある場合には、学校だけで抱え込むことなく、直ちに警察に通報し、その協力を得て対応していますか。                                  | 1               | 暴力行為をはじめ犯罪の可能性のあるものはすべて通報している。                    | 34.0% | 47.2%    | 27.4%      | 40.9%  |
|       |   | 2               | 犯罪の可能性のあるもののうち、特に重篤と考えるものに限定して通報している。             | 57.4% | 51.3%    | 60.8%      | 52.3%  |
|       |   | 3               | 特に通報していない。  | 8.6%  | 1.4%     | 11.8%      | 6.8%   |
| 問10   | いじめや暴力行為等に関して、貴校と警察との円滑な連携や情報共有のための仕組みがありますか。（複数回答可）                                      | 1               | 学校から警察への連絡対象事案を示す等、警察との連携事案を策定している。               | 54.2% | 37.6%    | 5.9%       | 27.3%  |
|       |   | 2               | 情報の相互交換をするために、協定等を交わしている。                         | 40.1% | 35.7%    | 11.3%      | 34.1%  |
|       |   | 3               | 警察との連携を円滑に行うために学校の担当窓口を明らかにし、警察側の担当窓口についても承知している。 | 85.1% | 99.8%    | 84.4%      | 93.2%  |
|       |   | 4               | その他（具体的にご記入ください）                                  | 0.9%  | 0.0%     | 12.4%      | 0.0%   |
| 問11   | 学校警察連絡協議会を開催していますか。   | 1               | はい  | 94.8% | 93.5%    | 100.0%     | 100.0% |
|       |   | 2               | いいえ   | 5.2%  | 6.5%     | 0.0%       | 0.0%   |
| 問11-② | 具体的にどのように開催していますか。  | ア 学校の構成員（複数回答可） |   |       |          |            |        |
|       |   | 1               | 校長  | 68.6% | 71.0%    | 46.8%      | 36.4%  |
|       |   | 2               | 教頭等   | 2.3%  | 4.4%     | 8.6%       | 2.3%   |
|       |   | 3               | 生徒指導担当教員  | 98.9% | 100.0%   | 100.0%     | 100.0% |
|       |   | イ 警察の構成員（複数回答可） |   |       |          |            |        |
|       |   | 1               | 警察署長  | 60.2% | 56.2%    | 36.6%      | 45.5%  |
|       |   | 2               | 生活安全課長等   | 93.6% | 93.8%    | 89.2%      | 97.7%  |
|       |   | 3               | 少年係長等   | 90.7% | 95.1%    | 74.2%      | 79.5%  |
|       |   | ウ 参加頻度          |   |       |          |            |        |
|       |   | 1               | 年に1回  | 1.1%  | 0.5%     | 1.1%       | 2.3%   |
| 2     | 年に2～5回程度  | 96.6%           | 83.1%   | 84.9% | 95.5%    |            |        |
| 3     | 年に6～11回程度   | 2.2%            | 10.8%   | 9.7%  | 2.3%     |            |        |
| 4     | 月に1回以上  | 0.1%            | 5.6%  | 4.3%  | 0.0%     |            |        |
| 問12   | 学校と警察の連携について、どのような仕組みが実質的に効果があるとお考えですか。警察と連携した取組の課題は何か、ご自由にお考えをご記入ください。                   | —               |   | —     | —        | —          | —      |
| 問13   | 貴校において、法務省人権擁護局が実施する「子どもの人権SOSミニレター」を配布しましたか。（小学校、中学校、特別支援学校（小学部及び中学部）及び中等教育学校（前期課程）に限る。） | 1               | はい  | 98.8% | 94.2%    | —          | 90.9%  |
|       |   | 2               | いいえ   | 1.2%  | 5.8%     | —          | 9.1%   |
| 問14   | 今回の滋賀県における事案を機に、これまでの取組を見直したり、新たな取組を開始するなどしていますか。している場合、その見直し内容や取組内容を記載してください。            | —               |   | —     | —        | —          | —      |
| 問15   | 突発的な事件・事故などの緊急時対応や、深刻ないじめ・暴力行為などの対応のために、国に支援を求めることはありますか。ご自由にご記入ください。                     | —               |   | —     | —        | —          | —      |

### Ⅲ 調査2-2「県独自調査（いじめ問題に係る学校における点検調査）」の詳細

#### 1 平成24年度 小学校（政令市を除く330校）

| 点検項目（取組み状況については、A・B・Cで回答）  | A   | 構成比   | B   | 構成比   | C  | 構成比   |
|--|-----|-------|-----|-------|----|-------|
| <b>指導体制</b>  |     |       |     |       |    |       |
| 1 適切な情報交換により共通認識を図りつつ、全教職員が一致協力して指導に取り組む実効性ある体制が確立されているか。                    | 265 | 80.3% | 65  | 19.7% | 0  | 0.0%  |
| 2 いじめが発生した際、きめ細かな状況把握を行い、適切な指導・支援に努める体制が確立されているか。                            | 270 | 81.8% | 60  | 18.2% | 0  | 0.0%  |
| 3 いじめの訴え等を教員が一人で抱え込むことなく、適切な報告等がなされる体制が確立されているか。                             | 285 | 86.4% | 45  | 13.6% | 0  | 0.0%  |
| 4 事例研究やカウンセリング実習など実践的な内容を伴った校内研修を積極的に実施しているか。                                | 92  | 27.9% | 209 | 63.3% | 29 | 8.8%  |
| <b>教育指導</b>  |     |       |     |       |    |       |
| 5 いじめをはやし立てたり、傍観したりする行為はいじめの行為と同様に許されないという認識を児童・生徒に持たせているか。                  | 269 | 81.5% | 60  | 18.2% | 1  | 0.3%  |
| 6 いじめを大人に伝えることは正しい行為であるという認識を児童・生徒に持たせているか。                                  | 274 | 83.0% | 56  | 17.0% | 0  | 0.0%  |
| 7 いじめられる生徒や、いじめを大人に告げた児童・生徒を徹底して守り通すということを言葉と態度で示しているか。                      | 273 | 82.7% | 56  | 17.0% | 1  | 0.3%  |
| 8 学校教育活動全体を通して、お互いを思いやり、尊重し、生命や人権を大切にすることを育成しているか。                           | 279 | 84.5% | 51  | 15.5% | 0  | 0.0%  |
| 9 ボランティア活動、自然体験活動等の体験活動をはじめ、人間関係や生活経験を豊かにする教育活動を取り入れているか。                    | 164 | 49.7% | 162 | 49.1% | 4  | 1.2%  |
| 10 学級活動・ホームルーム活動や児童会活動・生徒会活動などの場を利用して、児童・生徒が主体的にいじめの問題に取り組む場を設けているか。         | 127 | 38.5% | 196 | 59.4% | 7  | 2.1%  |
| <b>早期発見・適切な対応</b>  |     |       |     |       |    |       |
| 11 教職員の言動が、児童・生徒を傷つけたり、他の児童・生徒によるいじめを助長したりすることのないよう、細心の注意を払っているか。            | 275 | 83.3% | 53  | 16.1% | 2  | 0.6%  |
| 12 児童・生徒の悩みを受け止めるために、教員自身の気持ちではなく、児童・生徒の心や気持ちを汲んで接しているか。                     | 269 | 81.5% | 61  | 18.5% | 0  | 0.0%  |
| 13 教員自身が自己開示するなど、心を開き、率直な態度で話しをするなど、信頼に満ちた人間関係を築いているか。                       | 209 | 63.3% | 121 | 36.7% | 0  | 0.0%  |
| 14 児童・生徒の生活実態について、アンケート調査や聴き取り調査を行うなど、きめ細かい把握に努めているか。                        | 202 | 61.2% | 128 | 38.8% | 0  | 0.0%  |
| 15 校内に児童・生徒の悩みや要望を積極的に受け止め、併せて保護者の相談にも対応する教育相談体制が整備され、適切に機能しているか。            | 252 | 76.4% | 75  | 22.7% | 3  | 0.9%  |
| 16 教育相談の実施にあたって、必要に応じて外部の専門機関との連携が図られているか。また、外部の専門機関の相談窓口について、周知や広報が行われているか。 | 248 | 75.2% | 81  | 24.5% | 1  | 0.3%  |
| 17 いじめの把握にあたっては、スクールカウンセラーや養護教諭など校内の専門家との連携に努めているか。                          | 288 | 87.3% | 41  | 12.4% | 1  | 0.3%  |
| 18 いじめの訴えを受けたり、その兆候を発見した際は、事実関係の把握を正確かつ迅速に行い、的確に対応するよう努めているか。                | 310 | 93.9% | 19  | 5.8%  | 1  | 0.3%  |
| 19 いじめを把握した際には、問題解決のため、教育委員会との連携を密にするとともに、必要に応じて校外の関係機関と連携・協力を行うよう努めているか。    | 238 | 72.1% | 90  | 27.3% | 2  | 0.6%  |
| 20 インターネットを介したいじめの問題について、実態把握や最新情報の収集に努めるなど、支援体制は整備されているか。                   | 58  | 17.6% | 236 | 71.5% | 36 | 10.9% |
| 21 いじめが解決したと見られる場合でも、継続して十分な注意を払い、折に触れ必要な指導を行っているか。                          | 283 | 85.8% | 47  | 14.2% | 0  | 0.0%  |
| <b>家庭及び地域社会との連携</b>  |     |       |     |       |    |       |
| 22 いじめへの対処方針、指導計画等の情報について、積極的に公表し、保護者や地域住民の理解や協力を得るよう努めているか。                 | 93  | 28.2% | 220 | 66.7% | 17 | 5.2%  |
| 23 いじめの問題について、学校と保護者や地域住民との意見交換や連携を図るための機会を積極的に設けているか。                       | 71  | 21.5% | 234 | 70.9% | 25 | 7.6%  |
| 24 いじめ問題を把握した場合は、学校だけで解決することに固執せず、速やかに保護者及び教育委員会に報告する体制が敷かれているか。             | 251 | 76.1% | 77  | 23.3% | 2  | 0.6%  |
| 25 いじめが生じた際には、個人情報取扱いに留意しつつ、正確な情報提供を行う体制が敷かれているか。                            | 253 | 76.7% | 76  | 23.0% | 1  | 0.3%  |

## 2 平成24年度 中学校（政令市を除く180校 中等教育学校前期課程を含む）

| 点検項目（取組み状況については、A・B・Cで回答） |   | A   | 構成比   | B   | 構成比   | C  | 構成比  |
|---------------------------|---|-----|-------|-----|-------|----|------|
| A：十分取り組んでいる。              |   |     |       |     |       |    |      |
| B：概ね取り組んでいるが検討・改善の余地がある。  |   |     |       |     |       |    |      |
| C：十分な取組みとは言えず改善の余地がある。    |   |     |       |     |       |    |      |
| <b>指導体制</b>               |   |     |       |     |       |    |      |
| 1                         | 適切な情報交換により共通認識を図りつつ、全教職員が一致協力して指導に取り組む実効性ある体制が確立されているか。                   | 148 | 82.2% | 32  | 17.8% | 0  | 0.0% |
| 2                         | いじめが発生した際、きめ細かな状況把握を行い、適切な指導・支援に努める体制が確立されているか。                           | 153 | 85.0% | 27  | 15.0% | 0  | 0.0% |
| 3                         | いじめの訴え等を教員が一人で抱え込むことなく、適切な報告等がなされる体制が確立されているか。                            | 169 | 93.9% | 11  | 6.1%  | 0  | 0.0% |
| 4                         | 事例研究やカウンセリング実習など実践的な内容を伴った校内研修を積極的に実施しているか。                               | 44  | 24.4% | 120 | 66.7% | 16 | 8.9% |
| <b>教育指導</b>               |   |     |       |     |       |    |      |
| 5                         | いじめをはやし立てたり、傍観したりする行為はいじめの行為と同様に許されないという認識を児童・生徒に持たせているか。                 | 146 | 81.1% | 34  | 18.9% | 0  | 0.0% |
| 6                         | いじめを大人に伝えることは正しい行為であるという認識を児童・生徒に持たせているか。                                 | 143 | 79.4% | 37  | 20.6% | 0  | 0.0% |
| 7                         | いじめられる生徒や、いじめを大人に告げた児童・生徒を徹底して守り通すということを言葉と態度で示しているか。                     | 165 | 91.7% | 15  | 8.3%  | 0  | 0.0% |
| 8                         | 学校教育活動全体を通して、お互いを思いやり、尊重し、生命や人権を大切にすることを育成しているか。                          | 145 | 80.6% | 35  | 19.4% | 0  | 0.0% |
| 9                         | ボランティア活動、自然体験活動等の体験活動をはじめ、人間関係や生活経験を豊かにする教育活動を取り入れているか。                   | 115 | 63.9% | 64  | 35.6% | 1  | 0.6% |
| 10                        | 学級活動・ホームルーム活動や児童会活動・生徒会活動などの場を利用して、児童・生徒が主体的にいじめの問題に取り組む場を設けているか。         | 77  | 42.8% | 100 | 55.6% | 3  | 1.7% |
| <b>早期発見・適切な対応</b>         |   |     |       |     |       |    |      |
| 11                        | 教職員の言動が、児童・生徒を傷つけたり、他の児童・生徒によるいじめを助長したりすることのないよう、細心の注意を払っているか。            | 135 | 75.0% | 45  | 25.0% | 0  | 0.0% |
| 12                        | 児童・生徒の悩みを受け止めるために、教員自身の気持ちではなく、児童・生徒の心や気持ちを汲んで接しているか。                     | 137 | 76.1% | 43  | 23.9% | 0  | 0.0% |
| 13                        | 教員自身が自己開示するなど、心を開き、率直な態度で話しをするなど、信頼に満ちた人間関係を築いているか。                       | 109 | 60.6% | 71  | 39.4% | 0  | 0.0% |
| 14                        | 児童・生徒の生活実態について、アンケート調査や聴き取り調査を行うなど、きめ細かい把握に努めているか。                        | 148 | 82.2% | 32  | 17.8% | 0  | 0.0% |
| 15                        | 校内に児童・生徒の悩みや要望を積極的に受け止め、併せて保護者の相談にも対応する教育相談体制が整備され、適切に機能しているか。            | 154 | 85.6% | 26  | 14.4% | 0  | 0.0% |
| 16                        | 教育相談の実施にあたって、必要に応じて外部の専門機関との連携が図られているか。また、外部の専門機関の相談窓口について、周知や広報が行われているか。 | 137 | 76.1% | 42  | 23.3% | 1  | 0.6% |
| 17                        | いじめの把握にあたっては、スクールカウンセラーや養護教諭など校内の専門家との連携に努めているか。                          | 161 | 89.4% | 18  | 10.0% | 1  | 0.6% |
| 18                        | いじめの訴えを受けたり、その兆候を発見した際は、事実関係の把握を正確かつ迅速に行い、的確に対応するよう努めているか。                | 172 | 95.6% | 8   | 4.4%  | 0  | 0.0% |
| 19                        | いじめを把握した際には、問題解決のため、教育委員会との連携を密にするとともに、必要に応じて校外の関係機関と連携・協力を行うよう努めているか。    | 145 | 80.6% | 34  | 18.9% | 1  | 0.6% |
| 20                        | インターネットを介したいじめの問題について、実態把握や最新情報の収集に努めるなど、支援体制は整備されているか。                   | 54  | 30.0% | 121 | 67.2% | 5  | 2.8% |
| 21                        | いじめが解決したと見られる場合でも、継続して十分な注意を払い、折に触れ必要な指導を行っているか。                          | 152 | 84.4% | 28  | 15.6% | 0  | 0.0% |
| <b>家庭及び地域社会との連携</b>       |   |     |       |     |       |    |      |
| 22                        | いじめへの対処方針、指導計画等の情報について、積極的に公表し、保護者や地域住民の理解や協力を得るよう努めているか。                 | 57  | 31.7% | 119 | 66.1% | 4  | 2.2% |
| 23                        | いじめの問題について、学校と保護者や地域住民との意見交換や連携を図るための機会を積極的に設けているか。                       | 58  | 32.2% | 115 | 63.9% | 7  | 3.9% |
| 24                        | いじめ問題を把握した場合は、学校だけで解決することに固執せず、速やかに保護者及び教育委員会に報告する体制が敷かれているか。             | 149 | 82.8% | 31  | 17.2% | 0  | 0.0% |
| 25                        | いじめが生じた際には、個人情報取扱いに留意しつつ、正確な情報提供を行う体制が敷かれているか。                            | 155 | 86.1% | 25  | 13.9% | 0  | 0.0% |

### 3 平成24年度 高等学校（県立145校 165課程 中等教育学校後期課程含む）

| 点検項目（取組み状況については、A・B・Cで回答） | A | 構成比 | B | 構成比 | C | 構成比 |
|---------------------------|---|-----|---|-----|---|-----|
| A：十分取り組んでいる。              |   |     |   |     |   |     |
| B：概ね取り組んでいるが検討・改善の余地がある。  |   |     |   |     |   |     |
| C：十分な取組みとは言えず改善の余地がある。    |   |     |   |     |   |     |

| 指導体制 |   |     |       |     |       |    |      |
|------|---|-----|-------|-----|-------|----|------|
| 1    | 適切な情報交換により共通認識を図りつつ、全教職員が一致協力して指導に取り組む実効性ある体制が確立されているか。 | 130 | 78.8% | 35  | 21.2% | 0  | 0.0% |
| 2    | いじめが発生した際、きめ細かな状況把握を行い、適切な指導・支援に努める体制が確立されているか。         | 145 | 87.9% | 20  | 12.1% | 0  | 0.0% |
| 3    | いじめの訴え等を教員が一人で抱え込むことなく、適切な報告等がなされる体制が確立されているか。          | 142 | 86.1% | 23  | 13.9% | 0  | 0.0% |
| 4    | 事例研究やカウンセリング実習など実践的な内容を伴った校内研修を積極的に実施しているか。             | 47  | 28.5% | 103 | 62.4% | 15 | 9.1% |

| 教育指導 |   |     |       |    |       |    |      |
|------|---|-----|-------|----|-------|----|------|
| 5    | いじめをはやし立てたり、傍観したりする行為はいじめる行為と同様に許されないという認識を児童・生徒に持たせているか。         | 136 | 82.4% | 29 | 17.6% | 0  | 0.0% |
| 6    | いじめを大人に伝えることは正しい行為であるという認識を児童・生徒に持たせているか。                         | 130 | 78.8% | 35 | 21.2% | 0  | 0.0% |
| 7    | いじめられる生徒や、いじめを大人に告げた児童・生徒を徹底して守り通すということを言葉と態度で示しているか。             | 146 | 88.5% | 19 | 11.5% | 0  | 0.0% |
| 8    | 学校教育活動全体を通して、お互いを思いやり、尊重し、生命や人権を大切にする態度を育成しているか。                  | 144 | 87.3% | 21 | 12.7% | 0  | 0.0% |
| 9    | ボランティア活動、自然体験活動等の体験活動をはじめ、人間関係や生活経験を豊かにする教育活動を取り入れているか。           | 117 | 70.9% | 46 | 27.9% | 2  | 1.2% |
| 10   | 学級活動・ホームルーム活動や児童会活動・生徒会活動などの場を利用して、児童・生徒が主体的にいじめの問題に取り組む場を設けているか。 | 62  | 37.6% | 93 | 56.4% | 10 | 6.1% |

| 早期発見・適切な対応 |   |     |       |     |       |   |      |
|------------|---|-----|-------|-----|-------|---|------|
| 11         | 教職員の言動が、児童・生徒を傷つけたり、他の児童・生徒によるいじめを助長したりすることのないよう、細心の注意を払っているか。            | 147 | 89.1% | 18  | 10.9% | 0 | 0.0% |
| 12         | 児童・生徒の悩みを受け止めるために、教員自身の気持ちではなく、児童・生徒の心や気持ちを汲んで接しているか。                     | 143 | 86.7% | 22  | 13.3% | 0 | 0.0% |
| 13         | 教員自身が自己開示するなど、心を開き、率直な態度で話しをするなど、信頼に満ちた人間関係を築いているか。                       | 123 | 74.5% | 41  | 24.8% | 1 | 0.6% |
| 14         | 児童・生徒の生活実態について、アンケート調査や聴き取り調査を行うなど、きめ細かい把握に努めているか。                        | 117 | 70.9% | 48  | 29.1% | 0 | 0.0% |
| 15         | 校内に児童・生徒の悩みや要望を積極的に受け止め、併せて保護者の相談にも対応する教育相談体制が整備され、適切に機能しているか。            | 143 | 86.7% | 22  | 13.3% | 0 | 0.0% |
| 16         | 教育相談の実施にあたって、必要に応じて外部の専門機関との連携が図られているか。また、外部の専門機関の相談窓口について、周知や広報が行われているか。 | 134 | 81.2% | 30  | 18.2% | 1 | 0.6% |
| 17         | いじめの把握にあたっては、スクールカウンセラーや養護教諭など校内の専門家との連携に努めているか。                          | 153 | 92.7% | 12  | 7.3%  | 0 | 0.0% |
| 18         | いじめの訴えを受けたり、その兆候を発見した際は、事実関係の把握を正確かつ迅速に行い、的確に対応するよう努めているか。                | 161 | 97.6% | 4   | 2.4%  | 0 | 0.0% |
| 19         | いじめを把握した際には、問題解決のため、教育委員会との連携を密にするとともに、必要に応じて校外の関係機関と連携・協力を行うよう努めているか。    | 135 | 81.8% | 29  | 17.6% | 1 | 0.6% |
| 20         | インターネットを介したいじめの問題について、実態把握や最新情報の収集に努めるなど、支援体制は整備されているか。                   | 56  | 33.9% | 101 | 61.2% | 8 | 4.8% |
| 21         | いじめが解決したと見られる場合でも、継続して十分な注意を払い、折に触れ必要な指導を行っているか。                          | 139 | 84.2% | 26  | 15.8% | 0 | 0.0% |

| 家庭及び地域社会との連携 |   |     |       |     |       |    |       |
|--------------|---|-----|-------|-----|-------|----|-------|
| 22           | いじめへの対処方針、指導計画等の情報について、積極的に公表し、保護者や地域住民の理解や協力を得よう努めているか。      | 46  | 27.9% | 108 | 65.5% | 11 | 6.7%  |
| 23           | いじめの問題について、学校と保護者や地域住民との意見交換や連携を図るための機会を積極的に設けているか。           | 36  | 21.8% | 108 | 65.5% | 21 | 12.7% |
| 24           | いじめ問題を把握した場合は、学校だけで解決することに固執せず、速やかに保護者及び教育委員会に報告する体制が敷かれているか。 | 137 | 83.0% | 26  | 15.8% | 2  | 1.2%  |
| 25           | いじめが生じた際には、個人情報取扱いに留意しつつ、正確な情報提供を行う体制が敷かれているか。                | 144 | 87.3% | 21  | 12.7% | 0  | 0.0%  |

#### 4 平成24年度 特別支援学校（県立26校）

| 点検項目（取組み状況については、A・B・Cで回答） | A | 構成比 | B | 構成比 | C | 構成比 |
|---------------------------|---|-----|---|-----|---|-----|
| A：十分取り組んでいる。              |   |     |   |     |   |     |
| B：概ね取り組んでいるが検討・改善の余地がある。  |   |     |   |     |   |     |
| C：十分な取組みとは言えず改善の余地がある。    |   |     |   |     |   |     |

| 指導体制 |   |    |       |    |       |   |       |
|------|---|----|-------|----|-------|---|-------|
| 1    | 適切な情報交換により共通認識を図りつつ、全教職員が一致協力して指導に取り組む実効性ある体制が確立されているか。 | 19 | 73.1% | 7  | 26.9% | 0 | 0.0%  |
| 2    | いじめが発生した際、きめ細かな状況把握を行い、適切な指導・支援に努める体制が確立されているか。         | 23 | 88.5% | 3  | 11.5% | 0 | 0.0%  |
| 3    | いじめの訴え等を教員が一人で抱え込むことなく、適切な報告等がなされる体制が確立されているか。          | 24 | 92.3% | 2  | 7.7%  | 0 | 0.0%  |
| 4    | 事例研究やカウンセリング実習など実践的な内容を伴った校内研修を積極的に実施しているか。             | 8  | 30.8% | 15 | 57.7% | 3 | 11.5% |

| 教育指導 |   |    |       |    |       |   |       |
|------|---|----|-------|----|-------|---|-------|
| 5    | いじめをはやし立てたり、傍観したりする行為はいじめの行為と同様に許されないという認識を児童・生徒に持たせているか。         | 22 | 84.6% | 4  | 15.4% | 0 | 0.0%  |
| 6    | いじめを大人に伝えることは正しい行為であるという認識を児童・生徒に持たせているか。                         | 17 | 65.4% | 9  | 34.6% | 0 | 0.0%  |
| 7    | いじめられる生徒や、いじめを大人に告げた児童・生徒を徹底して守り通すということを言葉と態度で示しているか。             | 21 | 80.8% | 5  | 19.2% | 0 | 0.0%  |
| 8    | 学校教育活動全体を通して、お互いを思いやり、尊重し、生命や人権を大切にすることを育成しているか。                  | 21 | 80.8% | 5  | 19.2% | 0 | 0.0%  |
| 9    | ボランティア活動、自然体験活動等の体験活動をはじめ、人間関係や生活経験を豊かにする教育活動を取り入れているか。           | 19 | 73.1% | 7  | 26.9% | 0 | 0.0%  |
| 10   | 学級活動・ホームルーム活動や児童会活動・生徒会活動などの場を利用して、児童・生徒が主体的にいじめの問題に取り組む場を設けているか。 | 11 | 42.3% | 12 | 46.2% | 3 | 11.5% |

| 早期発見・適切な対応 |   |    |       |    |       |   |       |
|------------|---|----|-------|----|-------|---|-------|
| 11         | 教職員の言動が、児童・生徒を傷つけたり、他の児童・生徒によるいじめを助長したりすることのないよう、細心の注意を払っているか。            | 22 | 84.6% | 4  | 15.4% | 0 | 0.0%  |
| 12         | 児童・生徒の悩みを受け止めるために、教員自身の気持ちではなく、児童・生徒の心や気持ちを汲んで接しているか。                     | 25 | 96.2% | 1  | 3.8%  | 0 | 0.0%  |
| 13         | 教員自身が自己開示するなど、心を開き、率直な態度で話しをするなど、信頼に満ちた人間関係を築いているか。                       | 21 | 80.8% | 5  | 19.2% | 0 | 0.0%  |
| 14         | 児童・生徒の生活実態について、アンケート調査や聴き取り調査を行うなど、きめ細かい把握に努めているか。                        | 15 | 57.7% | 9  | 34.6% | 2 | 7.7%  |
| 15         | 校内に児童・生徒の悩みや要望を積極的に受け止め、併せて保護者の相談にも対応する教育相談体制が整備され、適切に機能しているか。            | 25 | 96.2% | 1  | 3.8%  | 0 | 0.0%  |
| 16         | 教育相談の実施にあたって、必要に応じて外部の専門機関との連携が図られているか。また、外部の専門機関の相談窓口について、周知や広報が行われているか。 | 25 | 96.2% | 1  | 3.8%  | 0 | 0.0%  |
| 17         | いじめの把握にあたっては、スクールカウンセラーや養護教諭など校内の専門家との連携に努めているか。                          | 24 | 92.3% | 2  | 7.7%  | 0 | 0.0%  |
| 18         | いじめの訴えを受けたり、その兆候を発見した際は、事実関係の把握を正確かつ迅速に行い、的確に対応するよう努めているか。                | 24 | 92.3% | 2  | 7.7%  | 0 | 0.0%  |
| 19         | いじめを把握した際には、問題解決のため、教育委員会との連携を密にするとともに、必要に応じて校外の関係機関と連携・協力を行うよう努めているか。    | 24 | 92.3% | 2  | 7.7%  | 0 | 0.0%  |
| 20         | インターネットを介したいじめの問題について、実態把握や最新情報の収集に努めるなど、支援体制は整備されているか。                   | 8  | 30.8% | 14 | 53.8% | 4 | 15.4% |
| 21         | いじめが解決したと見られる場合でも、継続して十分な注意を払い、折に触れ必要な指導を行っているか。                          | 21 | 80.8% | 5  | 19.2% | 0 | 0.0%  |

| 家庭及び地域社会との連携 |   |    |       |    |       |   |      |
|--------------|---|----|-------|----|-------|---|------|
| 22           | いじめへの対処方針、指導計画等の情報について、積極的に公表し、保護者や地域住民の理解や協力を得るよう努めているか。     | 10 | 38.5% | 16 | 61.5% | 0 | 0.0% |
| 23           | いじめの問題について、学校と保護者や地域住民との意見交換や連携を図るための機会を積極的に設けているか。           | 6  | 23.1% | 20 | 76.9% | 0 | 0.0% |
| 24           | いじめ問題を把握した場合は、学校だけで解決することに固執せず、速やかに保護者及び教育委員会に報告する体制が敷かれているか。 | 22 | 84.6% | 4  | 15.4% | 0 | 0.0% |
| 25           | いじめが生じた際には、個人情報取扱いに留意しつつ、正確な情報提供を行う体制が敷かれているか。                | 24 | 92.3% | 2  | 7.7%  | 0 | 0.0% |